

日本バプテスト連盟諸教会・伝道所御中

日本バプテスト連盟
常務理事 吉高 叶

～第一次ネパール地震支援募金のご報告～ (第3信)

ネパール地震後の経過報告と、さらなる祈りとご支援のお願い

主のみ名を賛美いたします。

4月に発災したネパール地震のその後の回復を覚えてお祈りと献金をありがとうございます。

5月下旬にカトマンズで行われた円卓会議には、各国バプテストの支援団体・支援部が集まりました。もともと世界のバプテストの支援団体はBRead(ブレッド: Baptist Relief and Development)という緩やかなネットワークを形成していましたが、今回はその中から10の団体が地元NGOとも連携し、ネパールバプテスト教会協議会(NBCC)の「多目的共同体構築支援機構(MCDS)」に寄り添いつつ、被災地域の長期的な再建を多面的に支えることになりました。このネットワークの中で、アジア太平洋バプテスト連合救援機関(APBAid)は、NBCC-MCDSに最も近いところで相談役となり、活動の企画、モニタリングや報告活動の支援にあたることになりました。すでにAPBAidの主事や担当者が幾度もネパールを訪れています。

BRead ネパールはまず3年の支援計画を立て募金目標を160万ドル(2億円)としました。その中でNBCC-MCDSは1年毎に10万ドルを募り2年間再建計画を担います(以降は再度計画)。「MCDSの共同体構築のプログラムをラリトプールなど4地域に絞って行う」、「地域支援(メンタルケア、教育、保健など)、生活環境回復支援、インフラ再建(住宅、学校、教会、水資源など)」等の活動です(第2信)。加えて、NBCCとAPBAidの協議の中から、各層のリーダー育成の課題が表れてきました。NBCCは1992年に8つの教会から始まり、現在167教会250伝道所、信徒数17000人、聖書学校が1校あります。設立から23年の若い団体で、教会・伝道所は小さな村に点在しています。その教会が、被災後長期的に人々の生活や共同体再建に仕えていくために、女性、青年、壮年、牧師、神学校、各層の人々が自ら課題を捉え、計画を立て実行し、報告とアピールを通してその活動を継続して行ける、そのような学びが求められています。APBAidはこの要請に応え、11月下旬にカトマンズでリーダー育成研修会を開催することになりました。この研修会が豊かに用いられるよう祈ります。

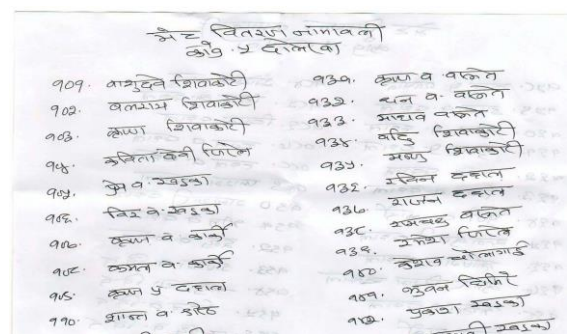
諸教会・伝道所からささげられた募金は7月7日現在2,864,648円となりました。心から感謝します。7月末日の集約を待つて更に多くの献金が届けられることでしょうか。世界のバプテストの働きに心を合わせ、日本バプテスト連盟の今回の震災募金の目標を総額500万円としたいと思います。7月末で満たされなかった場合には、再度第二次募金として8月末まで呼びかけます。そこでネパール支援募金は一旦終了し、将来再度呼びかけがあった時に検討して参ります。

人口の4分の1が被災したと言われるネパール地震。生活・共同体・地域再建には気の遠くなる時間が必要とされます。被災を経験し生活を立て直そうとしている方々、ネパールの教会、APBAidを始め各国の働き人のためにお祈りください。

(文: 井形英絵 国外伝道室長)



▲被災し外で生活する方々にマットを配布(6月)



▲手書きの配布リスト。名前が記されている。

●送金先 郵便振替

加入者 宗教法人日本バプテスト連盟総務部 00140-9-180881

※必ず通信欄に「ネパール地震」と明記して下さい

●募金第一次集約 2015年7月末 目標500万円